

## 今後のし尿等収集・運搬・処分業務の見込みと課題

## 【今後のし尿等収集・運搬・処分業務の見込み】

	収集・運搬件数	収集・処分量	理 由
し尿 (家庭、事業所)	減少	減少	人口減少、浄化槽・下水道へ転換が進むため
し尿 (仮設トイレ)	現状維持	現状維持	工事現場等がなくなる限り一定の収集は発生するため。
浄化槽汚泥	緩やかに減少	緩やかに減少	人口減少、下水道への転換が進むため

## 【現在の課題】

	収集体制	収集区域	収集・運搬料金	処分料金
し尿 (家庭、事業所) <u>委託</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集件数、量ともに減少が見込まれており、業務の非効率化がさらに加速する。</li> <li>・1件あたりの収集・運搬コストが高額となる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集の非効率化により、収集料金の改定が必要となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処分料金を含めて負担している下水道料金と不公平が生じている。</li> </ul>
し尿 (仮設トイレ) <u>許可</u>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者に業者の選択権がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域による料金格差が生じている。</li> </ul>	
浄化槽汚泥 <u>許可</u>				